MIZBERING START BOOK

“ミズベリング“をはじめるには？
これが、その手順ブック。

MIZBERING
ミズベリング

水辺のアクションがもっと増えれば、
みんなのまちはもっともっと輝くはずだ。

なにやら、全国の水辺が、ゆるゆると元気になってきた。
カフェやテラスができたり、巨大アヒルが浮かんでいたり。
河川を管理する規制の緩和で、水辺のポテンシャルが
一気に加速してきたみたい。

すでに元気な水辺の都市もあるけれど、まだまだ水辺をとりいれて
ワクワクできる環境づくり、まちづくりはできるはず。

そこでミズベリング・プロジェクト、開始。
ミズベリング（MIZBERING）とは、
「水辺＋リング（輪）」の造語であると同時に
常に現在進行形“ING”の気持ちで、水辺とまちが一体になった
美しい景観を未来へ創造しつづけるソーシャル・アクションワード。

みんなのアイデアとアクションが集まれば、日本の水辺は、
きっと世界がうらやむ楽しくて素敵なまちになるはずだ。

STEP 1

ロゴ作成

シンボルマークをつくろう！

ご自分のまちや川の名前でオリジナルのロゴを作成してみましょう。
“言ったモン勝ち” とはコトバの通り。まずは宣言してみましょう。

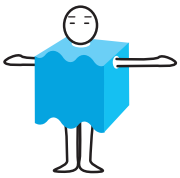
名前を何にするか決める。
みんながわかりやすい方がいい。

フォームから申し込む。

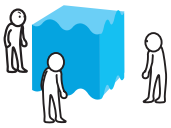
慌てず、届くまで数日待つ。

お申し込みは WEB サイトから
https://mizbering.jp/logo

ミズベリング的 ロゴの使い方マナー

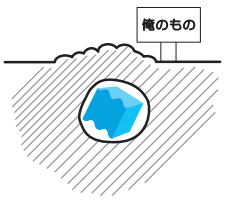


厳しいルールはありません。
型にはまらず自由なアイデアを。



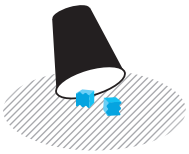
同じコトを考えている人は、
結構近くにいることがある。

どんなに距離が離れていても、
愛する川は同じだったりする。



独り占めせず、みんなで使って
水辺の価値を高めましょう。

人を脅したり、殴ったり、
暴力には使わない。



賭博、ギャンブルには使わない。

お子さまの名前には使わない。

体に刻まず、心に刻みましょう。

STEP 2

●●会議

集まってワイワイやろう！ 仲間をつくろう！

地域のみんなで水辺の未来を考える機会を設けましょう。
スタイルはそれぞれ自由。肩書きも外しましょう。

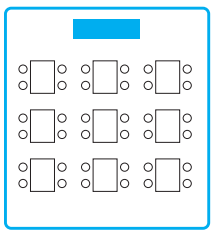
会議の形式

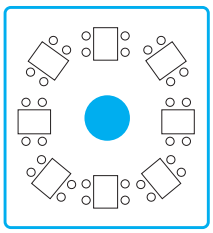
A．関係者触発会議 ひとまず関係者の触発を狙う レクチャー型
B．水辺創造アイデア会議 NPO, 市民主役の公開会議 レクチャー＆セッション
C．地域連携催事型会議　イベント仕立てのワークショップ レクチャー＆ワークショップ

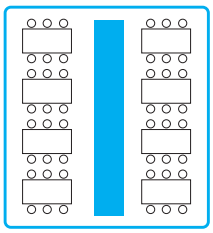
★B、Cパターンの開催を望みます

会場の選び方

人数に合わせた広さの会場を選びましょう。水辺でするのも、開放的でオススメです。


王道スタイル


リングスタイル


川道スタイル

当日の服装

スーツは固くなるのでできるだけ控えましょう。
水辺で過ごす休日のようなカジュアルな服装の方が開放的な気持ちになれます。
黒い集団にならないよう、合言葉は【サムシングブルー】

ミズベリング話法

【チャレンジ法】○○すべきである → ○○してみたら、どうだろう！

【肯定法】○○は、できないからダメだ。→ できる方法を考えてみよう！

【同感法】 貴方と私は意見が違う。→ 豊かにしたい気持ちは同じだ！

STEP 3

実践

全国でこんな感じでやってますヨ！

アイデアを具体的に形にしてみましょう。
できることから少しずつでも、やってみることが未来につながります。

飛騨高山「川床を楽しまナイト」

越前市日野川「おしゃれな『リ・BAR』」

岡崎市乙川「おとがワ！ンダーランド」

和歌山市市堀川「ワカリバ」

comaecolor「TAMARIBA」

長門市・長門湯本温泉音信川（おとずれがわ）
「長門湯本みらいプロジェクト／ おとずれリバーフェスタ 2017」

いきなりは無理だけど
とりあえず、参加してみたいという方は…。

● サポーターになってください。

水辺が近くにない、という方でも素敵な水辺の未来って、いいな。と思っていただける方は
プロジェクトが発信する記事などにいいね、やシェアをして拡散してください。

● フレンズになってください。

自ら発信し、アクションを起こす仲間がフレンズです。
近くの水辺でたたずんでみる、オススメの過ごし方を発信してみる。水辺の日にアクションを
起こしてみる。など、できることからすこしづつ、水辺の未来を発信していきましょう。

https://mizbering.jp/pagefriends

● だれでも参加できます「7月7日全国一斉水辺で乾杯」

「水辺で乾杯」は、毎年7月7日午後7時7分に、水辺にて乾杯を行い、
風流に参加者で風景を創出するイベントとして、全国各地の水辺で広く行われ、
初夏の風物詩となりつつあります。ぜひ、ご参加ください。

● だれでもなれます「イスダス人」

天気がいい日に川にイスを出し、川の風景を味わい愛でてみよう。
おのおの自由に好きな時間を過ごすことにより、水辺の魅力を心で感じられるはずです。

ハラッパー族

シッポリ族

ニッコーヨーク族

ミズベリング用語の基礎知識

ミズベリング的『広辞苑』

なんとなく聞いたことがあり、知ったふりをして使ってみたり、相づちを打った結果、
そこから話についていけなくなった。なんてことはありませんか？
そんな、日々進化し 生まれる「ミズベリング用語」をまとめました。

【逸脱力】 いつ - だつりょく

はみ出してつながって動かしていく力のこと。謎のイツダツ文明からのメッセージ。

【タテワリの壁】 たてわり - の - かべ

かつて東と西を隔てていた壁を市民の手によって壊した歴史に学ぶ。
ひとりで越えるよりも、みんなで壊すほうが世界は変わる。という教訓。

【交響空間】 こうきょう - くうかん

公共空間を、みんなが使って、使いこんで、気持ちが響きわたる空間に仕立て直すこと。

【かわよろず】 かわ - よろず

民のココロをもった行政が立ち上がり作った 10m² ほどの公共空間。
公共空間であるがゆえ、誰でも立ち入ることができる。椅子は「マルイーナ製」。

【水辺で乾杯】 みずべ - で - かんぱい

7月7日午後7時7分に身近な水辺で乾杯をする。
ただ、それだけの単純で粋な行為。その時、何が生まれるのかを確かめる水辺の社会実験。

【イスダス文明】 いす - だす - ぶんめい

天気がいい日に川にイスを出す人が増えて、川の風景を味わい愛でる文化が広がるという説。

【メタボガレア文明】 めたぼ - がれあ - ぶんめい

川で運動するお父さんが増えてメタボ傾向が減少し、そのエリア全体の健康度が上がるという説。

ミズベリング･プロジェクト事務局
mizbering.jp